

令和6年度 第3回 庁舎建替庁内検討委員会 会議録

《日 時》 令和7年1月29日（水） AM11:00～11:30

《場 所》 第1委員会室

《出席者》 総合政策部長、財務部長、市民環境部長、危機管理部長、福祉部長、保健部長、子ども家庭
応援部長（代理）、魅力創造部長、まちづくり推進部長、建設部長、会計管理者、上下水道
局長、議会事務局長、教育総務部長、学校教育部長、生涯学習部長、選挙管理委員会事務局
長、市民病院事務局長、消防長（代理）

《事務局》 副市長、総務部長、庁舎建設準備課長、参事、参事、担当員

【議題】新庁舎整備基本計画（素案）について

1 新庁舎整備基本計画（素案）について

新庁舎整備基本計画（素案）についての内容を概要版で説明。

－ 質疑と主な意見 －

（生涯学習部長）

フロア構成図の中で「生涯学習」と表記されているが、市民が見た時に中央公民館の中にある生涯学習課も新庁舎へ集約されると誤解する懸念があるので、表現を変えた方がいいのではないかと。

（参事）

表記方法について検討する。

（上下水道局長）

福祉総合センター敷地には一部境界確定未結了部分があったと思うが、今どうなっているのか。相手方とは接触しているか。

（参事）

未結了のままである。相手方との接触は現在行っていない。

（上下水道局長）

緑化計画について、敷地内に高木が残されているがどうするのか。切った場合、高木分の緑地が新たに必要になる。

（参事）

設計によって変わってくるが、移植は難しいと考えている。また、切る場合は緑化計画の中で代わりの高木を植えるなどの方法で対応していく必要がある。

（財務部長）

以前、提示された事業費は148億円と記憶しているが、増えたのはなぜか。

（参事）

建設単価の上昇及び防災用も兼ねた緑地を確保したことにより駐輪場部分を建屋内に取り込んだことによる、面積の増加によるものである。

（財務部長）

駐輪場だけで10億円の増加ということではないということか。

（参事）

駐輪場だけではない。

（まちづくり推進部長）

「新庁舎の導入機能・性能の検討」の「周辺環境への配慮」の中で「交通結節点の隣接地である」と

いう文面があるが、これは立地適正化計画における駅への都市機能増進施設ということを勘案しているのか。

(参事)

立地適正化計画もそうであるし、交通まちづくりアクションプランにおいても駅がバス誘導地となっている。今回新庁舎を建てるにあたって、敷地内や庁舎近くにバス停を設けるのではなく、あくまでも交通の結末点として駅の機能を重視するという、市全体としての考えを表している。

(まちづくり推進部長)

事業費の設計費について、一般的に設計費は工事費の10%程度といわれているが、それに対して少し安いように感じる。何か工夫をしたのかもしくはこの金額で問題ないという見込みがあるのか。

(参事)

現在の公共工事における設計価格も確認したうえで算定しているため、妥当な金額であると考えている。

(総務部長)

先ほども申し上げた通り、この素案をもって今後のスケジュールを進めていきたい。

また、本編も時間がある時にご確認いただき、気づいた点があれば適宜いただきたい。

(副市長)

今回は波積副市長が公務により欠席で、前は私も参加できなかったが、今後この委員会は二人で対応させてもらおうと思っているので、よろしくお願いいたします。

それと、庁舎建設は最初の工程よりもかなり遅れている。現在令和13年完成予定で進めているが、これ以上足踏みや後退のないよう庁内一丸となって進めていかないといけない。部長の方々はその辺りの認識はもうお持ちだと思うので、各課でのそれぞれの立場での色々な考え思いもあるだろうが、まずは庁舎を建てるということを最優先にして、協力してもらえようように各課長へ伝えていただきたい。

以上